

世界史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

1. この問題用紙は、14 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合し、確認すること。
3. 解答用紙の所定の欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄にマークするか、または所定の欄に記述すること。
5. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入しなさい。
6. 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
7. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。また所定以外のところには、絶対に記入しないこと。
8. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
9. 解答用紙は、持ち帰らないこと。
10. この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は、60 分である。
12. 解答をマークする場合の注意。

(マーク記入例)

良い例	悪い例
	



〔 I 〕 次の文章をよく読み、下記の設問に答えなさい。

1973年以降の発掘調査により、浙江省の 遺跡から稲穂が発掘され、約7000年前に長江中下流域において、すでに稲作が始まったと考えられるようになった。また、四川省成都近郊において新石器時代後期の遺跡が発掘され 文化と名づけられた。中国文明の起源はずっと黄河文明であるといわれてきたが、これら一連の発掘により、黄河文明と並ぶ有力な文明として長江文明という言い方もなされるようになってきている。

春秋時代に出現し戦国時代に普及した鉄製農具によって土地の開墾は容易になり、農業生産力は向上した。中国は、西部は高原地帯だが、東部にいくほど平野部が広がる。広大な平野部には大河が東へ向かって流れている。長江以南は長江以北に比べれば山がちではあるが、それほど高くなく、中原の文化や政治勢力が南下する妨げにはならなかった。

春秋時代、長江流域には、呉、越、楚があったが、戦国時代には長江一帯は楚によって支配されていた。秦による国土統一後、秦は南嶺^aを越え、嶺南の地の征服に向かった。秦は長江の支流である湘江の上流と珠江(西江)の支流である漓江^{りこう}の上流を結ぶ運河、^{れいせよ}靈渠を開削し、北からの補給体制を整え、ついに嶺南の地を平定することに成功し、そこに 郡を置いた。だが、秦末の混乱の際、嶺南に趙佗が南越を建てた。南越は前111年、漢の武帝によって滅ぼされた。

後漢末、黄巾の乱以後の混乱のなかから、曹操が台頭し、華北を制覇し、荊州を制圧した。長江流域に進出した曹操は荊州の水軍を率い長江を下り、赤壁において、孫権・劉備の連合軍と戦ったが、周瑜率いる江南の水軍に大敗し北方に退いた。華北に魏、四川に蜀が成立した後、江南の孫権は魏により呉王に封じられたが、222年、独自の年号を建て、229年、帝を称し を都とした。

呉およびその後の江南に建国した南朝各王朝による支配のもと、江南の開発は進んだ。3世紀末にはじまった八王の乱に乗じて、五胡が華北で次々に蜂起した。4世紀初め、匈奴を主体とする の乱が起り、洛陽、つづいて長安を攻略し、316年、晋帝を殺害し西晋を滅ぼした。華北には五胡が次々に短命の王朝^bを建て、分裂局面が長期化した。混乱を逃れ、多くの人々が江南に移住し、

江南の開発は加速された。北方から逃れてきた人々のなかには、伝統文化を受け継ぐ士大夫も多く、次第に江南は文化の中心となっていく。六朝時代の文人としては山水詩の第一人者 **カ**，田園詩人陶淵明，画家顧愷之，書家王羲之などがよく知られている。

魏晋南北朝期の江南では水稻耕作が普及したが，そのため、水利事業も盛んであり、大きな水路は灌漑のほか水運にも用いられた。隋の国家再統一後、文帝につづき煬帝は運河を整備かつ拡張し、大運河をつくらせた。それにより、洛陽を中心とし、南は杭州から、北は涿郡（現在の北京近郊）までの、華北と江南を結ぶ大動脈ができた。また、水路を通して首都長安や、長江およびその支流湘江を経て広州にまでつながることになった。煬帝の高句麗遠征軍が涿郡に本営を置いたのも、その輸送力を頼みとしたからであった。だが、三度にわたる高句麗遠征の失敗後、各地で反乱がおこり、煬帝は離宮がある江都に逃れ、そこで殺害された。江都は大運河と長江が交わる長江北岸の町 **キ** のことであり、水陸交通の中心に位置し、唐代には海上貿易でも繁栄し、アラブ商人も在留した。

江南の開発につれ江南の人口も増大し、唐から五代十国時代には華北に匹敵するほどになってきた。大運河建設はこのような水稻農業を中心として発展する江南の食糧や生活物資を首都や軍屯地に輸送することに主要な目的があった。また、官吏や外国人の往来にも利用された。唐末の動乱の後、朱全忠が後梁を建てることによって、唐は崩壊し、その後華北には後梁を含め5つの王朝があいついで建てられ、華中・華南には前後して9国が興亡した。このような諸国家の分立状態は、長く中国の王朝によって支配されてきたベトナムが独立することを容易にした。10世紀初頭より自立の動きが始まり、10世紀後半の丁氏の統一王朝を経て、1009年、ベトナム最初の本格的統一国家、**ク** が建設された。

宋代に入っても、江南経済の発展は続いた。江南は農業の中心となったばかりでなく、貨幣経済の発展とともに、商工業の中心ともなった。海上貿易が盛んとなり、主要な海港都市には市舶司が置かれ、貿易を管理した。これらの海港にはムスリム商人をはじめ、海外から多くの商人が訪れ、その繁栄ぶりをしめした。なかでも後に寧波と呼ばれた **ケ** は日本との交易および南海貿易で栄え、日本の禅僧の遊学地として知られた。華中江南の経済的繁栄は文化の面において

も発揮され、多数の科学合格者を出すようになった。唐宋八大家と呼ばれた大文豪のなかで、唐代の韓愈、柳宗元は華北の人であったのに対し、宋代の蘇洵・コ・蘇轍は長江流域、四川の人であり、王安石・歐陽脩・曾鞏はいずれも江南の人であったことは、そのことを象徴している。

設問 1 文中の空欄(ア～コ)にもっとも適する語句を漢字で記入しなさい。

設問 2 文中の下線部(a～e)に関連する下記の設問に解答しなさい。

- a 楚の懐王に仕え、内政外交に活躍したが失脚し、頃襄王けいじょうおうのとき湖南に流され、秦に攻められた楚が危機に瀕したのを悲しみ、汨羅びつらの淵に身を投じ没した詩人は誰か記しなさい。『楚辞』の主要な作者とみなされている。
- b 華北の混乱は北魏によって統一される。北魏の酈道元は、3世紀頃の地理書をもとに、調査と文献考証により、中国の諸河川と流域の様子を記述した書物を著した。その著作の名称を記しなさい。
- c 顧愷之は、晋の張華が書いた女官へのいましめを絵画にしたと伝えられている。大英博物館には、その唐初の模写と推定される作品がある。その名称は何か記しなさい。
- d 江南の農業とは違い、華北の農業は乾地に耐える農業であった。その乾地犁耕農法を大成したのは北魏の賈思勰の著書であった。現存する中国最古の農書でもある、この書名を記しなさい。
- e 後漢の初め、光武帝の治世下、ベトナム人の反乱が起き、反乱軍は一時期北ベトナム全域を支配したが、43年、嶺南を越えて派遣された馬援軍によって破られた。その反乱の名称を記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、文中の空欄(1～10)にもっとも適する語句を記入しなさい。

文字は、表語(表意)文字と表音文字に大きく分けられる。表語文字の例として、絵文字や象形文字、そして私たち日本人が使用している漢字が挙げられる。例えば、「山」は「地形の山(やま)」を表すが、同時に「サン」という音も表している。表音文字は音だけを表す表記法を指し、音節を表すものと単音(音素)だけを表すものがある。日本語の平仮名・片仮名は前者の代表的なものであり、ローマ字や英語などのアルファベットは後者に相当する。

最初の文字が発明されたのは前4千年紀後半で、神殿を中心とした大村落が数多く成立し、鉄器や青銅器などが道具として普及し始めた金属器時代の幕開けとほぼ同時期である。最古の文字体系は象形文字で、メソポタミアで最初の都市文明を築き、ウルクや現在のテルロに当たる など多くの都市国家を建設したシュメール人によって考案された。シュメール人の最後の王朝である 王朝時代には、現存する世界最古の法典がシュメール語で粘土板に記された。

そのころエジプトでは、神殿や墓室、石棺などに刻まれた神聖文字が発達していた。これは元来、表語文字であったが、のちに表音文字としても使用されるようになった。表語・表音併用の表記法は、日本語の漢字・仮名まじり文と似ている。古代エジプトでは、宗教書・公文書、文学作品などには、簡略体の 文字が使用され、その後さらに簡略化された民用文字が生み出された。古代エジプト文字で記された文書として、死と復活の神である の審判にそなえて、死者の生前の善行や呪文を記し副葬した、「死者の書」が挙げられる。

古代エジプト文字解読の手掛かりとなったのは、プトレマイオス5世の偉業を讃える内容が刻まれた石碑ロゼッタ=ストーンである。これは1799年、ナポレオンによるエジプト遠征の際に発見された。19世紀のフランス人エジプト学者 がその解読に成功し、その後のエジプト学の発展に大きく貢献した。

エジプトでは、独特の文字表記が発達する一方、他国との外交では楔形文字も

同時に併用されていた。主にアッカド語で粘土板に記された、前14世紀の外交文書である [6] 文書がその一例であり、当時のオリエント諸国家間の国際関係を知るうえで貴重な資料となっている。

カナーン人の使用した表音文字から線状の [7] 文字がつけられ、これが前8世紀頃にギリシアに伝わってアルファベットの起源となった。 [7] 人は、カルタゴをはじめ多くの植民都市を建設した人々であった。覚えやすく、簡単に書け、単純な形をした文字として、アルファベットは効率的な伝達手段とみなされた。

東地中海のクレタにはクレタ絵文字と呼ばれる表語文字があり、のちにここから線文字が発達した。クレタ文明後期のものを線文字A、ミケーネ文明期のものを線文字Bという。1952年、イギリス人建築家の [8] は、線文字Bの解読に成功し、この言語が古ギリシア語であることを証明した。

新大陸でも、独自の文字体系が発明され使用されていた。前1200年以降にメキシコ湾岸地方で栄えた [9] 文明でも、すでに絵文字や暦が使用されていたことが、考古遺物から判明している。4世紀ころからユカタン半島を中心に繁栄したマヤ文明は、表語と表音の性質を兼ね備えた複雑な文字体系を発達させた。一方で、南米で一大帝国を築いたインカ帝国では、文字は使用されず、縄の結び方で意味や数量を示す [10] (結縄)によって、人口統計や徴税が記録された。

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、下線(1～10)に関連するそれぞれの問(1～10)にもっとも適するものを(A～D)の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

第一次世界大戦後のヨーロッパでは、パリ講和会議とヴェルサイユ条約¹が戦後の新たな地域秩序を築いていくこととなった。アメリカ大統領ウィルソンの提唱による「十四カ条」が基本原則となったパリ講和会議では、英・仏は植民地や自らの勢力圏²の利害を優先し、ドイツに対しては支払能力を越える高額な賠償を課した。このウィルソンの提案によって、史上初の集団的国際安全保障機構である国際連盟³が設立された。賠償問題に関してはドーズ案、国際関係に関してはロカルノ条約⁴の締結によって、1920年代半ばのヨーロッパが一定の安定へと導かれるとともに、1920～30年代にかけての戦間期におけるヴェルサイユ体制という国際政治・経済秩序がもたらされたが、やがてドイツとイタリアは、ファシズムへと突き進んでいくこととなる。

連合国の中でもっとも人的・物的被害が大きかったフランスは、ドイツの再強国化を防ぎ⁶、さらに自国の経済的損失を補うために、ドイツに対する賠償支払いで強硬な姿勢を貫いた。

ドイツでは、ヴァイマル共和国が成立したものの、敗戦とヴェルサイユ条約に対する不満が高まるなか、保守派やヒトラーの率いるナチ党(ナチス)⁷などの国粋主義者が早くから反共和国行動や批判を展開する一方、共産党は共和国打倒の革命蜂起を企てた。戦後の賠償支払いの遅延をめぐるドイツとフランスの対立が激化すると、フランスとベルギーは1923年1月、ドイツの石炭・コークス⁸引渡し量不足を理由に、ドイツの石炭生産の中心地で、有数の重工業地域であったルール地方に軍を進駐させ、直接賠償の取立てに乗り出した。こうしたなか、記録的な通貨インフレに陥ったが、こうした経済の混乱は、レンテンマルクの採用、ドーズ案の受け入れと国外からの資本の導入で、一時的に落ち着いたものの、29年の世界恐慌によって、ドイツ経済は完全に機能不全に陥っていった。

一方、イタリアは、戦勝国でありながらも、期待していた領土獲得を果たせなかったことから国民の失望を招き、さらに戦後インフレなどによる社会的不満を背景に、都市部での労働運動や労働条件の改善を求める農業労働者などの社会運

動が拡大していった。こうした社会運動の展開とは別に、1919年3月、ナショナリズムを強調する独自の政治活動を行っていたムッソリーニ⁹が復員軍人や一部のサンディカリストなどを集め、ファシスト党の前身となる戦闘者ファッシを結成した。彼は1921年、各地のファシスト勢力を結集し、ファシスト党へ統合し、22年には政府や支配層に対する組織的圧力を強め、政権を握った。やがて20年代の後半、彼は他政党を解散させて一党支配を実現し、ファシスト党主導下に議会を無力化しつつ、独裁体制を築いていった。

こうしたイタリアに誕生したファシスト党の思想・支配及び組織形態・行動様式はファシズムと呼ばれる。それはもともとイタリアの事例だけをさす固有名詞であったが、やがてドイツや日本を含む、他国での類似した新しい政治運動、政治思想などを総称するようになった。いわゆる全体主義¹⁰と呼ばれる政治形態があらわれたのである。

問1 下線部1に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A ドイツの陸軍は徴兵制が認められたものの、その兵力は10万を上限とした。
- B ライン川の西岸(ラインラント)を非武装地帯とし、ドイツの軍事施設と駐兵を禁止し、東岸は連合国が15年間保障占領した。
- C プロイセン・オーストリア戦争によってプロイセンに併合されたアルザス・ロレーヌは、ヴェルサイユ条約によってフランスに割譲された。
- D ダンツィヒはヴェルサイユ条約で国際連盟管理下の自由市とされた。

問2 下線部2に関連する次の文章のうち、「十四カ条」に含まれないものを選びなさい。

- A 秘密外交の廃止
- B 海洋の自由
- C 正統主義
- D 経済(関税)障壁の撤廃

- 問 3 下線部 3 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。
- A アメリカの不参加とドイツなど敗戦国やソヴィエト＝ロシアの排除、イギリス・フランスの主導を特徴としていた。
 - B 各国一票で全会一致を原則として、侵略国家に対しては十分な制裁手段を持っていた。
 - C 国際連盟の事務局はパリにおかれ、その付属機関として国際労働機関 (ILO) が労働問題の調整機関として設立された。
 - D 常任理事国は、イギリス・フランス・スイス・日本の四カ国で、1926 年にドイツを加えた。

- 問 4 下線部 4 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。
- A ドーズ案は、イギリス資本のドイツへの貸与、および支払い方法と期限の緩和を主な内容としていた。
 - B 1929 年のヤング案は、支払い期間をそのままに総額を圧縮した。
 - C 1932 年のベルリン会議で、賠償総額は 30 億金マルクに減額された。
 - D ナチス＝ドイツは、賠償それ自体を否定した。

- 問 5 下線部 5 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。
- A イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・チェコスロヴァキアの 6 カ国がスイスのロカルノで仮調印した。
 - B この条約締結を主導したのは、フランス外相クレマンソーであった。
 - C おもに東ヨーロッパに対する安全保障条約で、現状維持、相互不侵略、紛争の仲裁裁判を内容としていた。
 - D ドイツの国際連盟への加盟を条約発効の条件としていた。

問 6 下線部 6 に関連して、第二次世界大戦時のフランスとドイツをめぐる次の文章のうち、誤っているものを選びなさい。

- A フランスに侵攻したドイツ軍は、1940 年 6 月、パリを占領した。
- B フランス第三共和政が崩壊した。
- C ヴィシー政府が成立し、フランス北半を統治した。
- D ドゴールはロンドンに亡命し、自由フランス政府を組織した。

問 7 下線部 7 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A その正式名称は国民(国家)社会主義ドイツ労働者党であり、左翼政党の一つである。
- B エーベルトは 1933 年、ヒトラーを首相に任命した。
- C ナチス幹部の身辺警護組織は突撃隊(SA)と呼ばれている。
- D ヴァイマル政府の打倒・政権獲得をめざして行われたナチスのクーデタは、1923 年、ミュンヘンで起きた。

問 8 下線部 8 に関連して、第二次世界大戦後のヨーロッパの統合は、石炭・鉄鋼の共同管理にはじまるが、次のもののうち、設立当初よりイギリスが参加していたものを選びなさい。

- A ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)
- B ヨーロッパ経済共同体(EEC)
- C ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)
- D ヨーロッパ共同体(EC)

問 9 下線部 9 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A 1922 年、政権獲得のために組織した示威行動は、ミラノ進軍と呼ばれる。
- B 1929 年にローマ教皇庁とラテラノ条約を結んで国交断絶状態を正常化した。
- C 1935 年、イタリアはエジプトに侵攻した。
- D スペインの内乱に対しては、不干渉の立場をとった。

問10 下線部 10 に関連する次の文章のうち、もっとも適切なものを選びなさい。

- A 国家や社会全体の利益を優先することによって、個人の自由や利益の発展を目指す政治思想・政治形態である。
- B 古代ギリシアの民主主義概念に遡りつつ、近代民主主義の原理を取り入れた政治思想である。
- C 自らの民族や国家を極度に美化し、独裁制をとることが多い政治思想・政治形態である。
- D ドイツのナチズム、イタリアのファッショ体制、日本の軍国主義などが典型だが、共産主義国の政治体制は、このなかには含まれない。

[IV] 次の文章をよく読み、下線(1～10)に関連するそれぞれの問(1～10)にもっとも適するものを(1～4)の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

イスラーム世界は長い間、様々な面でヨーロッパを圧倒していた。文化面から
1 1 みると、ギリシアやインドに起源を持つ哲学や自然科学分野は翻訳によってイス
ラーム世界に取り込まれ、発展していた。軍事的にも、第1回十字軍にこそ敗れ
たものの、その後は決定的な敗北を被ることはなかった。1299年に建国された
オスマン帝国は、15世紀初めにティムールと戦って弱体化するが、その後力を
3 3 回復し、1453年にはビザンツ帝国を滅ぼした。さらに16～17世紀には二度の
5 5 ウィーン包囲を行っている。ヨーロッパは「オスマンの脅威」にさらされていたの
6 6 である。しかし18世紀になると、ヨーロッパがイスラーム世界に影響を与える
ようになっていく。18世紀前半のチューリップ時代と呼ばれる時代には、西欧
の文芸・地理・医学などの導入がはかられたが、本格的な改革が行われるよう
7 7 になるのは、19世紀になってからである。これらの改革の結果作られたミドハト
憲法は、ロシア＝トルコ戦争の勃発を口実に停止された。しかしオスマン帝国
8 8 は、西欧のナショナリズムの影響を受けた領内の諸民族の独立運動や列強の干
9 9 渉・侵略に対処できず、1922年に600年以上にも及ぶ長い歴史を閉じることに
10 10 なった。

問 1 下線部1に関連して、9～12世紀のイスラーム世界の学芸について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 ラシード＝アッディーンは、『集史』を著した。
- 2 ニザーミーヤ学院は、官僚養成とシーア派の学問奨励のために創設された。
- 3 ギリシア語文献のアラビア語訳などを行う「知恵の館」が、カイロに建設された。
- 4 フィルドゥシーは、ガズナ朝時代のイランの民族詩人である。

問 2 下線部 2 について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 神聖ローマ皇帝フリードリヒ 2 世は、第 3 回十字軍の際に、イスラーム側との話し合いによって、一時的に聖地を回復した。
- 2 フランス王ルイ 9 世は、第 6 回・第 7 回十字軍を主導したが、第 7 回十字軍の最中に死亡した。
- 3 アイユーブ朝を滅ぼしたサラディン(サラーフ=アッディーン)は、第 3 回十字軍と戦った。
- 4 アッコンは、第 4 回十字軍の際に陥落した。

問 3 下線部 3 に関連して、13~15 世紀のオスマン帝国について述べた文としてもっとも適切なものを選びなさい。

- 1 初代君主となったオスマン 1 世は、ルーム=セルジューク朝の君主であった。
- 2 14 世紀半ばから 15 世紀半ばまで、都はアドリアノーブルにあった。
- 3 コソヴォの戦いに敗れ、バルカン半島を失った。
- 4 オスマン帝国初期の都は、アンカラである。

問 4 下線部 4 に関連して、ティムール朝について述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- 1 15 世紀に、都がヘラートに移された。
- 2 第 4 代君主ウルグ=ベクは、学芸を愛好し、天文台などを建設した。
- 3 初期の都は、イスファハーンにあった。
- 4 ティムールは、西チャガタイ=ハン国を滅ぼした。

問 5 下線部 5 に関連して、ビザンツ帝国の制度や文化などについて述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 テマ制は、ユスティニアヌス帝(在位 527～565)が開始したと言われている。
- 2 プロノイア制では、世襲の領地が貴族層に認められていたが、のちに一代限りとされた。
- 3 ノミスマとは、後期ローマ帝国やビザンツ帝国で発行された金貨のことである。
- 4 ギリシアのラヴェンナにあるサン=ヴィターレ聖堂は、ビザンツ芸術の代表となる建築のひとつである。

問 6 下線部 6 に関連して、18 世紀のオーストリアについて述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- 1 バイエルン公は、マリア=テレジアとその夫フランツに対し、神聖ローマ皇帝の帝位継承権を主張した。
- 2 ヨーゼフ 2 世の農奴解放令では、金銭を支払わなければ賦役義務からの解放が認められなかった。
- 3 ヨーゼフ 2 世は、宗教寛容令によって、非カトリック教徒にも信仰の自由を許した。
- 4 七年戦争では、フランスと結んだプロイセンと戦った。

問 7 下線部 7 に関連して、19 世紀のオスマン帝国における出来事について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 マフムト 2 世は、イエニチェリ軍団を解散した。
- 2 二度にわたるエジプト=トルコ戦争に勝利した。
- 3 タンジマートを始めたのは、ミドハト=パシャである。
- 4 セリム 3 世は、トルコ=イギリス通商条約を結んで、帝国の市場を解放した。

問 8 下線部 8 について述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- 1 オスマン帝国は、ロシアに敗北した。
- 2 サン＝ステファノ条約では、ブルガリアの独立が承認された。
- 3 ベルリン条約では、イギリスがキプロス島の行政権を獲得した。
- 4 ロシアは、スラヴ民族の保護を口実に宣戦した。

問 9 下線部 9 に関連して、イタリアのリソルジメントについて述べた文として、誤っているものを選びなさい。

- 1 マッツィーニは「青年イタリア」を組織し、ローマ共和国を樹立した。
- 2 カルロ＝アルベルトは、自由主義憲法を制定し、オーストリアと戦った。
- 3 イタリア統一の中核となったサルデーニャ王国の首都は、トリノである。
- 4 ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 1 世は、カヴールを首相に起用し、イタリア統一を達成した。

問 10 下線部 10 に関連して、オスマン帝国支配下の諸民族の独立について述べた文として、もっとも適切なものを選びなさい。

- 1 ギリシアの独立は、ロンドン会議で国際的に認められた。
- 2 モルダヴィア・ワラキアは、ラシュタット条約によって事実上の独立が認められた。
- 3 ボスニア・ヘルツェゴヴィナは、オスマン帝国に対する反乱をおこし、ベルリン条約で独立を認められた。
- 4 セルビアでは独立運動が行われていたが、19 世紀にはオスマン帝国から独立することができなかった。

〔V〕 イギリスで産業革命と並行して展開された農業革命について、3 行以内で説明しなさい。



